

# 会社案内

AIを軸に日本の成長を支える  
キャピタルグループを目指す

AIフュージョンキャピタルグループ株式会社

会社名	AIフュージョンキャピタルグループ株式会社 (英語表記: AI FUSION CAPITAL GROUP CORP.)
上場市場	東証スタンダード市場上場 (証券コード254A)
本社所在地	〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート12階
資本金	100百万円 (発行済株式総数8,902,600株)
事業内容	ベンチャー企業への投資及び投資事業組合の組成 及びその管理・運営等を行うグループ会社の経営管理 及びこれに附帯又は関連する業務 (自己投資事業、ファンド事業、PIPEs事業、投資銀行事業)
設立年月	2024年10月
決算期	3月
役員	代表取締役社長 澤田 大輔 常務取締役 金 一寿 取締役(社外) 久保 隆 取締役(社外) 加來 武宜 社外取締役監査等委員 松本 高一 社外取締役監査等委員 砂田 有史 社外取締役監査等委員 蒲生 武志
企業理念	<b>AIを軸に日本の成長を支えるキャピタルグループを目指す</b>

# 代表メッセージ

**当社は、AIを軸に総合金融ソリューション事業を中心に据え、  
日本の成長を支えるキャピタルグループを目指します！**

当社は、既存ビジネスである地方創生/CVC/テーマ型各ファンドの拡大を継続しつつ、更に地域企業等のM&A、成長が見込まれる企業への直接投資に注力いたします。これらの既存ビジネスと新規ビジネスを切り分けて事業運営を行うために、各事業会社を子会社として保有する持株会社となっております。

当社が事業の軸として捉える世界のAI市場規模 (AI機能を利用するためのハードウェア/ソフトウェア/プラットフォーム及びAIシステム構築に関わるITサービス)は、生成AIの本格的普及に伴い、2030年まで年平均成長率 (CAGR) 約30%で約1.8兆米ドルに加速度的成長を遂げることが予測されています。

更に生成AIは、テキスト/画像/動画/音声等の生成を通じて、ITサービスのみならず様々な産業に「作業の大幅な効率化」「新たなアイデアの実現」をもたらし、2030年までに世界経済に15.7兆米ドルの経済効果が見込まれ、世界のGDPを14%増加させるメガ・トレンド・第4次産業革命と目されています。

このAIを軸に総合金融ソリューション事業を中心に据え、日本の成長を支えるキャピタルグループを目指し、2030年3月期の時価総額目標として1,000億円を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

皆様には、今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

AIフュージョンキャピタルグループ株式会社  
代表取締役社長

**澤田大輔**





**金 一寿**  
常務取締役

監査法人で培った公認会計士としての幅広い見識に加え、公認会計士事務所および税理士事務所の代表として企業の会計や財務に関する多岐にわたる経験を有しております。  
2024年10月に、常務取締役に就任。



**久保 隆**  
社外取締役

弁護士として、コーポレートガバナンス、企業コンプライアンス及び企業経営に深い造詣を有しており、法務、コンプライアンス、内部統制システム及びガバナンス体制を万全としております。  
2024年10月に、社外取締役に就任。



**加來 武宜**  
社外取締役

弁護士として、金融庁検査官や事業会社の取締役としての経験等を通じて、企業法務に精通しており、専門的な知見を活かし、経営の監視・監督を行っております。  
2024年10月に、社外取締役に就任。



**松本 高一**  
社外取締役監査等委員

スタートアップ上場プロセスに関する専門的知見に加え、上場企業ガバナンスに関する豊富な見識を有しており、取締役の職務執行に対する監督、助言等を行っております。2024年10月に、社外取締役監査等委員会に就任。



**砂田 有史**  
社外取締役監査等委員

弁護士として、企業法務に精通しており、またM&Aやベンチャー投資にも知見を有していることより、専門的な観点から取締役の職務執行に対する監督、助言等を行っております。2024年10月に、社外取締役監査等委員会に就任。



**蒲生 武志**  
社外取締役監査等委員

公認会計士・税理士として、コーポレート・ガバナンス、企業コンプライアンス及び企業経営に深い造詣を有しており、会計・内部統制システム及びガバナンス体制等、専門的な観点から取締役の職務執行に対する監督、助言等を行っております。2024年10月に、社外取締役監査等委員会に就任。

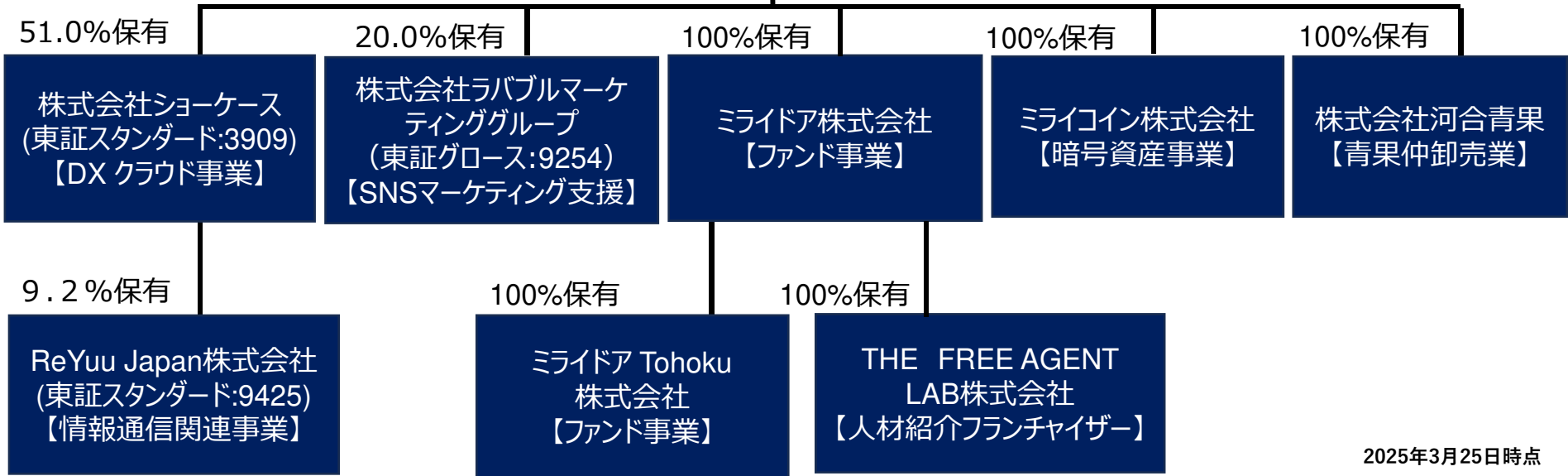
# グループ（主要）資本関係図

「投資⇒DX/AIによるバリューアップという投資事業とAIを一体とした  
新たな事業モデル」の確立 + 持続的な成長モデルの構築

事業間のシナジー

AIフュージョンキャピタル  
グループ株式会社  
(東証スタンダード: 254A)

DX/AIソリューション機能の追加による  
投資事業の競争優位性向上



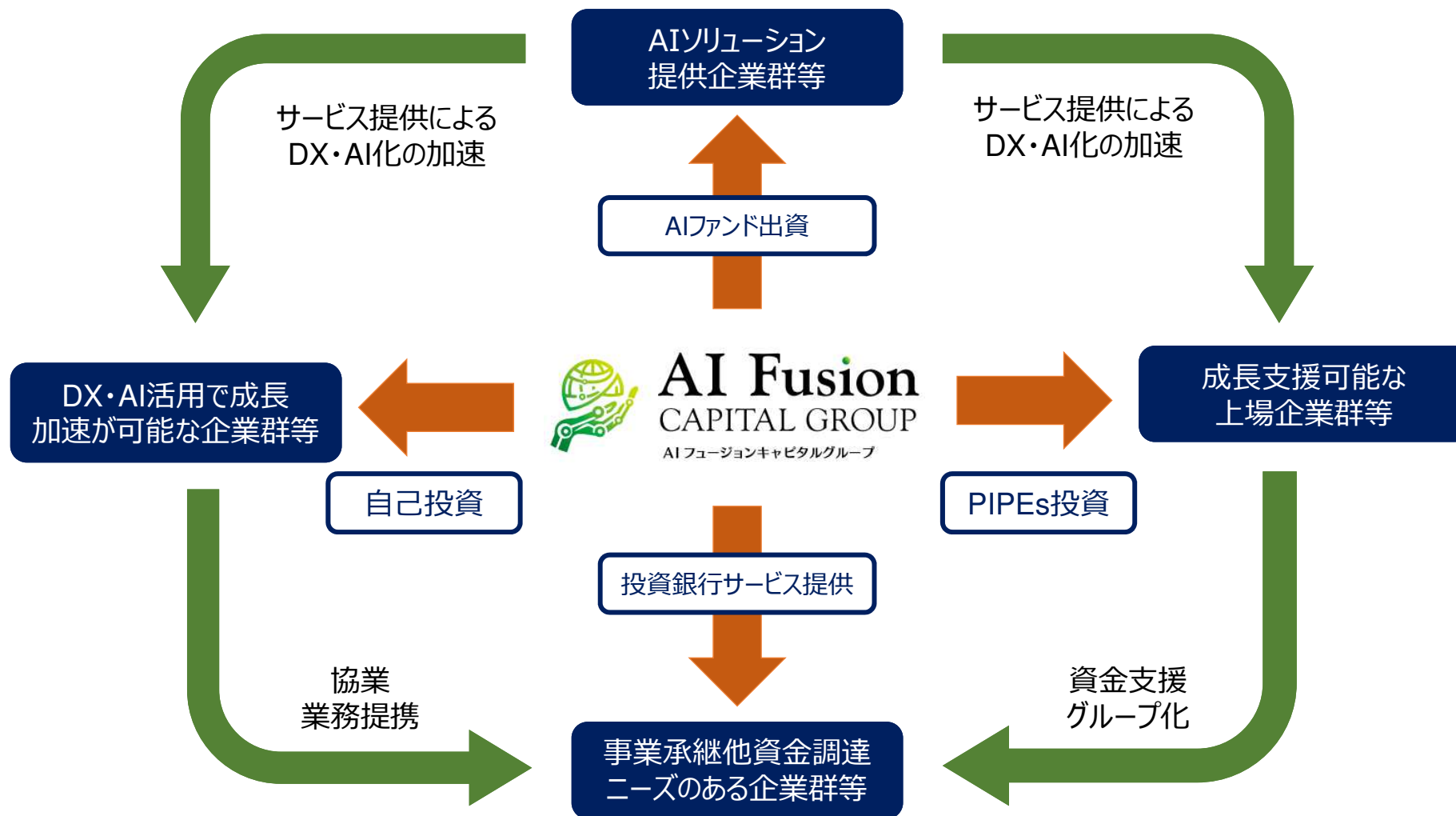
2025年3月25日時点

全国の金融機関/地方自治体/  
CVCパートナー等の顧客紹介  
によるサービス普及加速

ハンズオン経営伴走支援ノウハウ・経験  
を活かした様々な新規営業  
/領域の開拓

# 事業概要 / 4つの事業ドメイン


- AIを軸に、自己投資事業・ファンド事業・PIPEs事業・投資銀行事業からなる4つの事業ドメインをコア領域と定め、シナジー効果を発揮しながら、それぞれが独立した事業として当社グループの利益成長をドライブしていきます



# 株式会社ショーケースの連結子会社化と資本業務提携

- ▶ 当社は2024年11月14日に、公開買付け（2024年11月15日～12月12日を予定）及び第三者割当増資により、DXクラウド事業、広告・メディア事業、投資関連事業、情報通信関連事業を手掛ける株式会社ショーケース（証券コード3909）の連結子会社化及び資本業務提携契約の締結を発表いたしました
- ▶ 当社は、株式会社ショーケースの発行済株式総数の51.00%を所有することとなり、同社は引き続き東京証券取引所スタンダード市場での上場を維持する方針です
- ▶ 金融機能と経営伴走支援を有する当社と、DXソリューション機能・AIソリューション機能を有する株式会社ショーケースによる様々なシナジー効果を見込むことができます



  
2024年11月14日

各位

会社名 AIフュージョンキャピタルグループ株式会社  
(コード: 254A 東証スタンダード市場)  
代表者名 代表取締役社長 澤田 大輔  
問合せ先 財務経理部長 西田 賢一郎  
(TEL: 03-6261-9511)

**株式会社ショーケースとの資本業務提携契約の締結、  
株式会社ショーケース株式(証券コード3909)に対する公開買付けの開始  
及び第三者割当増資の引受けについて**

AIフュージョンキャピタルグループ株式会社(以下「公開買付者」といいます。)は、2024年11月14日の取締役会において、株式会社ショーケース(株式会社東京証券取引所(以下「東京証券取引所」といいます。))スタンダード市場、証券コード: 3909、以下「対象者」といいます。)の普通株式(以下「対象者株式」といいます。)を金融商品取引法(昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。以下「法」といいます。)に定める公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)により取得することを決議いたしましたので、お知らせいたします。また、公開買付者は、本公開買付けに関連して、対象者との間で、資本業務提携契約を締結すること、及び第三者割当増資を引受けすることを決議しましたので、併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 公開買付けについて

1. 買付け等の目的

(1) 本公開買付けの概要

公開買付者は、単独株式移転の方法により、2024年10月1日付けでフューチャーベンチャーキャピタル株式会社(以下「FVC」といいます。)の完全親会社として設立され、同日付けで東京証券取引所スタンダード市場に上場しました。なお、本日現在、公開買付者及びFVCは、対象者の普通株式(以下「対象者株式」といいます。)を所有していません。

公開買付者は、2024年11月14日開催の取締役会において、公開買付者及び対象者との間で、同日付けで、資本業務提携契約(以下「本資本業務提携契約」といいます。本資本業務提携契約については、下記「(3) 本取引に係る重要な合意に関する事項」をご参照ください。)を締結し、対象者を公開買付者の連結子会社とすることを目的として、東京証券取引所スタンダード市場に上場している対象者株式を対象とした公開買付けを実施し、本公開買付けが成立すること等を条件として、対象者が実施する公開買付者を割当予定先とする対象者株式1,612,900株(増資後所有割合(注1): 18.81%)の第三者割当による新株式発行(注2)(以下「本第三者割当増資」といいます。))を引受け、本公開買付け及び本第三者割当増資を総称して「本取引」といいます。)を引受けすることを決議しました。



# 株式会社ラバブルマーケティンググループ と資本業務提携

- ▶ 株式会社ラバブルマーケティンググループは、当社が発行済株式総数の 20.04%を保有する持分法適用会社となりました
- ▶ 当社は、株式会社ラバブルマーケティンググループと資本業務提携を締結致しました 概要は以下の通りです
  - (1) 当社グループと L M G のそれぞれが強みを持つ、D X ・ A I 関連技術及び S N S マーケティングの開発と導入、相互の商品、ブランド、及び事業の展開
  - (2) 経営管理機能の共有、グループ間の顧客の連携
  - (3) その他両当事者が合意した事項
- ▶ 株式会社ラバブルマーケティンググループおよび当社グループ（連結子会社であるショーケースを含む）それぞれが有する巨大な市場での大きな事業機会を最大限に活用するには、両者が連携し、相互に顧客を紹介したり、それぞれの強みを活かした新たな商品・サービスを提供したりすることが、金融機能と経営伴走支援を有する当社と様々なシナジー効果を見込むことができます



2025年2月27日

各位

会社名: AI フュージョンキャピタルグループ株式会社  
(コード:254A 東証スタンダード市場)  
代表者名: 代表取締役社長 澤田 大輔  
問合せ先: 財務経理部長 西田 賢一郎  
(TEL: 03-6261-9511)

**株式会社ラバブルマーケティンググループ(証券コード: 9254)の「公開買付けに準ずる行為として政令で定める買集め行為」に該当する株式取得と資本業務提携契約締結に関するお知らせ**

当社は、本日取締役会において、株式会社ラバブルマーケティンググループ（東証グロース、証券コード 9254、以下、「LMG」という）の株式取得（以下、「本株式取得」という）および LMG との資本業務提携契約（以下、「本提携契約」という）の締結を決議致しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本株式取得は、金融商品取引法第 167 条第 1 項及び金融商品取引法施行令第 31 条に規定する「公開買付けに準ずる行為として政令で定める買集め行為」に該当しますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 本株式取得および本提携契約の締結を行う理由について  
当社は、2024年10月29日に中期経営計画（AI革命1.0）を策定し、様々なセクターの企業群の構造変革をもたらす可能性のある「第四次産業革命」と目される AI を軸に、「自己投資事業」「ファンド事業」「P I P E s 事業」「投資銀行事業」の 4 つの事業ドメインにおける戦略的投資・金融活動により日本の成長を支えるキャピタルグループを目指し、2030年3月期には時価総額 1,000 億円を目標として掲げております。

2024年12月にはDX分野で強みを持つ株式会社ショーケース（東証スタンダード、証券コード3909、以下「ショーケース」という）等を連結子会社化し、さらに2025年1月にはミライコイン株式会社を連結子会社として設立し、オルタナティブ金融資産としての特性に加え、当社が事業の軸に据える AI と密接な関係を有する暗号資産投資事業にも進出致しました。

## 地方創生ファンド実績

32 カバーエリア  
都道府県

### 《地方創生ファンド投資対象エリア》

■ 主要出資金融機関所在地  
■ 投資対象エリア



## 地域金融機関ネットワーク

約4 ファンド出資者の  
割 が地域金融機関

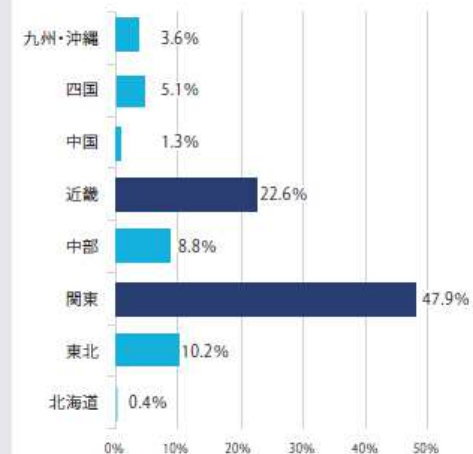
### 《主な出資者構成》



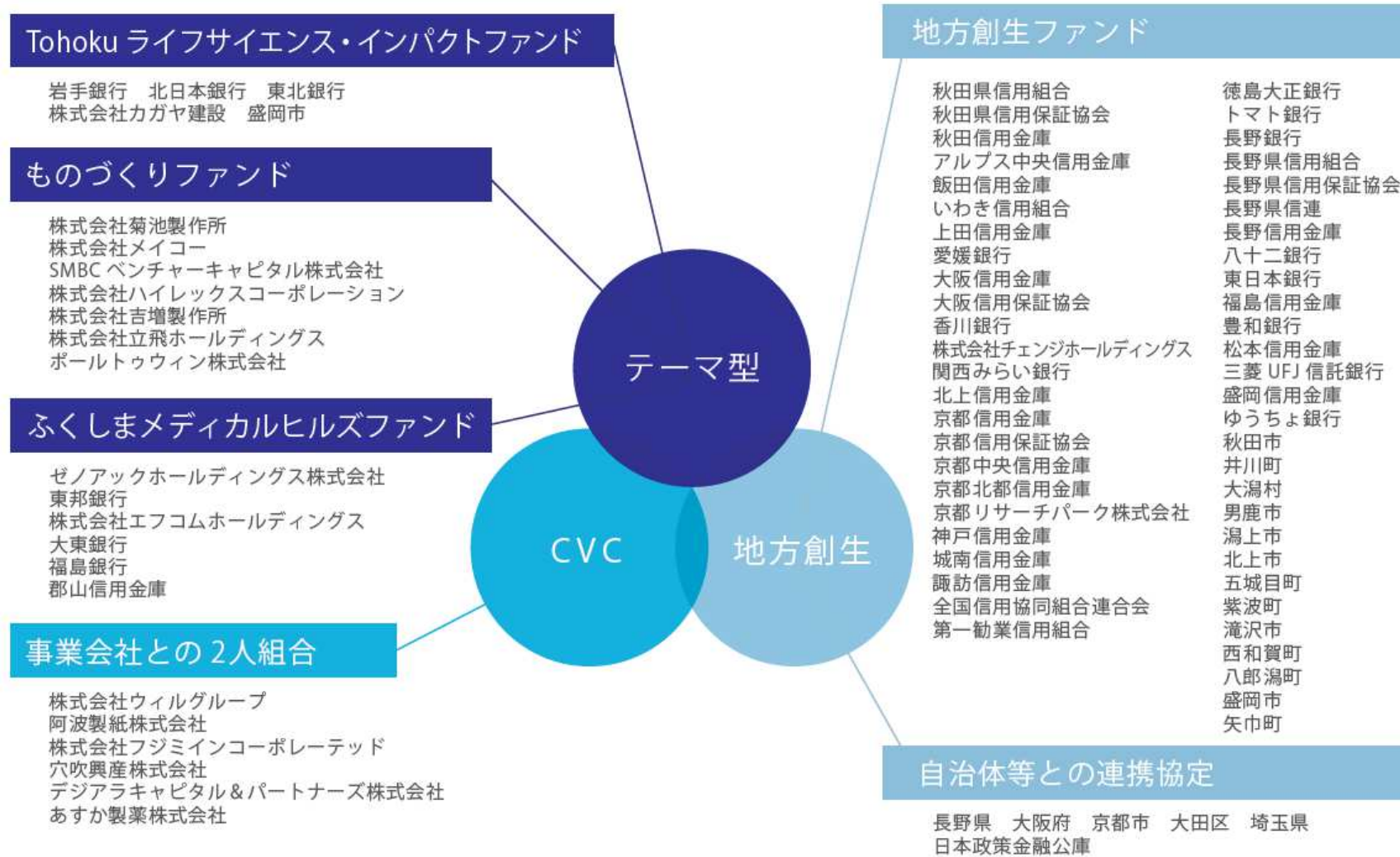
## 地方公共団体ネットワーク

12 ファンド  
が地公体と連携

### 《投資残高 地域分散》



※2024年9月にファンド区分を見直し、本資料は新区分での記載をしています。



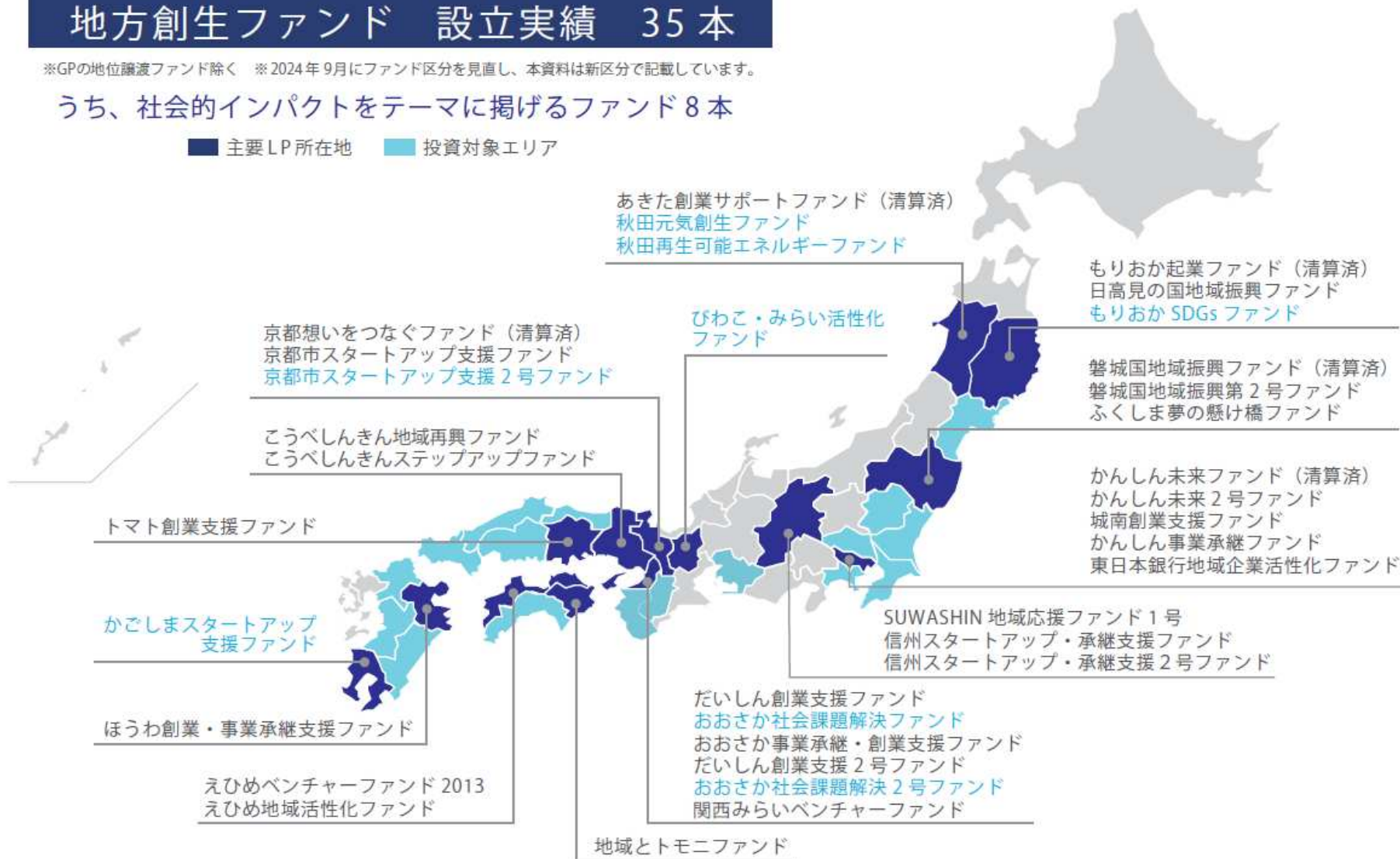
※出資者と連携機関の一部を掲載しています。

## 地方創生ファンド 設立実績 35 本

※GPの地位譲渡ファンド除く ※2024年9月にファンド区分を見直し、本資料は新区分で記載しています。

うち、社会的インパクトをテーマに掲げるファンド 8 本

■ 主要LP所在地 ■ 投資対象エリア



## 創業支援型

### 【伝統文化】

(株)松沢漆工房

漆の精製加工・販売、漆器の  
企画・小売・卸売

### 【美容】

(株) Lecture

地域発関東進出のシャンプーブロー  
専門サロン

### 【ペットの総合栄養食】

(株) XAXA

新ジャンル高級ペットフードの  
開発・販売

### 【3Dプリンター】

(株)ゲーテンベルク

超高制度・高速FFF式  
3Dプリンターの開発・販売

### 【インバウンド】

(株)わかか

しまなみ街道サイクル総合施設

### 【植物工場野菜】

(株)恵葉 & 菜健康野菜

高抗酸化値と美味しさを兼ね備えた  
健康野菜の栽培・研究・開発

### 【地域観光の活性化】

(株)オマツリジャパン

祭りの企画運営サポート、  
プロモーション、ブランディング

### 【女性活躍推進】

(株)マミー・クリスタル

地域特化型リアルコミュニティの運営  
自治体と連携した女性活躍推進

## 直近IPO・M&A実績

### 【半導体製造装置】

2024年12月IPO

(株) TMH

半導体製造装置・部品のメンテナンス  
及びECプラットフォーム

### 【子育てサポート】

2024年12月IPO

BABY JOB (株)

保育施設向け紙おむつとおしりふきの  
サブスクリプションサービス

### 【シニアホーム紹介サービス】

2023年10月IPO

(株)笑美面

シニアホーム選びから  
入居までを支援

### 【音×AIソリューション】

2024年10月IPO

Hmcomm (株)

音声認識、異音検知・自然言語解析  
処理を用いたプラットフォームの提供

### 【建設DX】

2023年3月IPO

(株)Arent

建設業界向けDXコンサル、  
システム開発・販売等

### 【アプリCRM】

2023年5月M&A

(株)インサイトコア

飲食店向け店舗集客  
支援システムの提供

### 【採用支援】

2021年3月IPO

(株) i-plug

ダイレクトリクルーティング

### 【不動産管理】

2022年12月IPO

(株)スマサポ

不動産管理業界向けソリューション  
提供、DX推進

### 【eラーニング】

2020年7月IPO

KIYO ラーニング(株)

ビジネスパーソン向け  
教育コンテンツ

当社グループは、AIの進化がインターネットが人類に与えたインパクトをはるかに凌駕し、人類の文明、文化、社会の在り方、そして個々人の価値観や生き方までを大きく変貌させると考えています。

ビジネス界においては、AIをいち早く取り入れた企業がその経営効率性において大きく変貌し、大きな発展を遂げると考えます。

インターネットの普及が世界の巨大企業の序列を変えたように、AIもまた世界の巨大企業の序列を変えていく事でしょう。

当社グループは、ビジネスとAIの融合を金融面から推進し、世界の発展を飛躍的に加速させていく、そんな思いをロゴに込めました。

そして、人類は今後ますます世界の持続可能性を高める方向へと向かっていく事でしょう。

植物が光合成により青々と成長していくように、そんな思いをロゴカラーにしました。



## FUSIONが意味するもの

- AIをビジネスにFUSION（融合）する
- AIとFUSION（核融合発電）が密接に関連する
- 核融合発電 = AIの拡大とともに爆発的に増加する消費電力への最適解の1つである